

# 令和4年度 野洲図書館 事業報告(概要)

令和5年(2023年)4月1日 (統計は令和4年度数値)

## 1. 利用状況

### (1) 個人貸出

	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	予約受付 (冊)	問合件数 (件)	実利用数 (人)	人口一人あたりの貸出冊数
本館	467,771	113,977	57,930	5,721	-	-
中主分館	39,025	8,530	1,686	521	-	-
合計	506,796 前年比 Δ5.3% (36,502)	122,507 前年比 Δ2.2% (8,364)	59,616 前年比 Δ2.6%	6,242 前年比 17.8%増	9,891人 (市民8,663人 実利用率17.1%)	10.0冊

\* ( )内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

\*「実利用者数」は1年間に1度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

\*本館、中主分館とも 279 日開館

### (2) 地域別貸出冊数

	本館	中主分館	合計	前年比
市民	417,092	34,263	451,355	Δ4.8%
湖南4市	守山	3,263	34,153	Δ15.6%
	栗東	45	4,310	5.9%
	草津	608	3,469	Δ14.2%
	小計	3,916	41,932	Δ13.7%
その他	12,663	846	13,509	5.3%
合計	467,771	39,025	506,796	Δ5.3%
前年比	Δ5.4%	Δ4.6%	Δ5.3%	

### (3) 貸出冊数の推移

	合計	うち市民
28	646,153	525,437
29	639,520	516,736
30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189
R3	535,337	473,927
R4	506,796	451,355

(利用状況について)

令和4年度は前年比マイナスとなった。令和2年度のコロナ禍の臨時休館もあり大きく落ち込んだ利用は、令和3年度にいったん回復したが、令和4年度は再び下がっている。この傾向は県内ではおおむね同じである。

湖南4市の図書館ではお互いに広域利用をしているため、利用状況の推移で注目する項目は、利用の合計ではなく市民の利用の推移である。守山市の平成30年の新館開館により、4市の相互利用はおおむねバランスがとれた状態となってきている。コロナの規制が緩和された令和5年度からは、市民の利用を伸ばすよう、さまざまな取組みをすすめることが必要である。

『日本の図書館2022』

(日本図書館協会)

(令和3年度統計)

人口6万未満の市区		
順位	自治体名	貸出数 (千点)
1	野々市市	605
2	野洲市	535
3	福生市	477
4	下松市	476
5	返子市	459
合計	81市区	

(全国の図書館との比較)

全国統計は2年遅れて公表されるため、令和4年度の利用状況はまだ出ていない。令和3年度の人口別の貸出統計では、全国の5万人~6万人の人口の自治体数81の中で野洲市は2番目である。

### (4) 団体貸出 合計 57,355 冊貸出

(園用読み聞かせ絵本セット5,760冊、小学校「としょかんBOX」25,360冊、中学校「としょかんBOX」9,380冊、その他16,855冊)

## (5) 子どもと本をつなぐ取り組み

年度	冊
25	26.5
26	25.4
27	26.5
28	26.3
29	27.4
30	27.2
R1	25.1
R2	21.5
R3	25.6
R4	25.3

### (子どもの野洲図書館の利用状況の推移)

左の表は、市内の子ども(0~12歳)1人当たりの図書館の児童図書の個人貸出の貸出冊数の推移である。(※第3次野洲市子ども読書活動推進計画の目標値)おおむね横ばいで、令和4年度はコロナ禍前の元年度の状況に戻っている。

子どもが本に親しむためには、幼児期には大人が絵本をよんであげることが大切であり、自分で読めるようになってからは、子どもの身近に、楽しみのための読書に適した本がある環境を作ることが大切です。

図書館ではこのために、通常の個人貸出やお話会、蔵書整備という基本事業の他に、主に次の①~④の事業を行ってきました。令和5年度はこれに加え、特に⑤⑥の事業についてすすめます。

#### ①未就園児対象

- 「ブックスタート事業」4か月児健診時に、赤ちゃんのときから絵本を読んであげることの大切さを伝え、絵本を2冊プレゼントする事業。

#### ②幼児対象事業

- 園での読み聞かせ用絵本セットの巡回事業 市内の園(私立含む)15園と発達支援センター、子育て支援センターに配本・巡回(年6回)。
- 園への団体貸出(配送もあり)
- 園に図書館所蔵の作品リスト配布(季節・行事・紙芝居、大型絵本などのお話会用作品、布絵本、人権について考える絵本などの図書館所蔵資料のリスト)
- 園でのお話会・研修会などへの職員派遣、図書館見学

#### ③小・中学生対象

- 調べ学習等への協力(調査、本の用意、資料貸出、写真パネルの貸出)
- 司書の学校訪問(ブックトーク、お話会、研修会、職業インタビューなど)
- 児童生徒の図書館訪問の受入れ(図書館見学、貸出、お話会、職場体験等)
- 「としょかんBOX」巡回事業 小中学校の全クラスに30~35冊の本が入った箱を設置し、定期的に交換・巡回。小学校は年7回。中学校は年5回。
- 学童保育等への団体貸出

#### ④その他

- 野洲高校との連携
- 図書館だより、ブックリスト等の作成
- 各種イベント、展示
- リサイクル本の内覧会と譲渡(園・学校など対象)

### .....今後の取組みの予定.....

#### ⑤園への協力事業

身近な大人からの読み聞かせの大切さを伝えるため、保護者やボランティア向けの絵本講座を園で企画されるときに司書を派遣します。園での読み聞かせボランティアの活動を広げられるようPRします。

#### ⑥小中学校の学校図書館の充実に向けて(令和5年度事業)

図書館の職員一名に学校教育課との兼務辞令が出され、「学校図書館支援員」として学校図書館のサポートを行う予定としています。令和5年度から導入された学校図書館システムの運用面での困りごとや、選書、除籍、図書室のレイアウト等の相談を受けます。また調べ学習用資料を配送します。

子どもの主体的な読書活動・学習活動を支援し、想像力や読解力を育み、生きる力につなげていくためには、学校図書館の充実が不可欠です。

## (6) だれでも図書館を利用できるしくみ

### ① バリアフリーサービス

障がい者手帳等を持つ人や要介護3以上の市民が対象。宅配と郵送を両方利用する人もおり、返却は近くのブックポストに返していただけることもある。

平成29年度から開始した、障がいがある人への郵送、宅配サービスは、PR イベント等も実施して広報をすすめており、少しずつ利用が伸びている。

年度	バリアフリーサービス(宅配・郵送)						合計の実利用者数
	宅配			郵送			
	実利用者数	件数	冊数	実利用者数	件数	冊数	
H29	3	20	-	3	11	22	6
H30	4	33	327	6	77	238	9
R1	5	49	381	7	113	434	11
R2	4	46	366	7	138	624	11
R3	6	37	329	14	177	710	17
R4	7	53	285	12	210	852	18

### ② 野洲駅への予約本受取ボックスとブックポストの設置

国の令和4年度「新型コロナウイルス感染症対策対応地方臨時交付金」(8月補正予算)を活用。

JR西日本の協力により、野洲駅の自由通路に予約本受取ボックス(34棚)とブックポスト2台を設置。非対面で24時間、本を借りたり返したりできるようになった。

【経費】7,246,860円(うち保守料1,056千円は一般財源)

野洲駅へのブックポスト設置の要望は以前から寄せられていた。また、開館時間内に図書館まで来ることが難しい人や、図書館まで遠くて来られない人も、希望する本を借りたり返したりしやすくなり、図書館利用の機会を広げることができた。



### (7) その他 利用に関する統計

\*コピーサービス 3,004枚、国立国会図書館デジタル化資料複写 506枚

\*図書館ホームページ閲覧件数 119,934件

## 2. 蔵書

蔵書数(令和5年3月31日現在)

雑誌、新聞の( )内は購入数

	図書 (冊)	CD (点)	DVD (点)	絵画 (点)	雑誌 (タイトル)	新聞 (タイトル)
本館	379,353	5,523	1,222	310	186(141)	19(13)
中主分館	32,447	190	11	0	12(9)	2(2)
合計	411,800	5,713	1,233	310	197(150)	21(15)

雑誌オーナー 26タイトル 18件

購入資料数と決算額(令和4年度)

	新規購入図書 (冊)	視聴覚資料 (タイトル数)	図書費 (円)	雑誌購入費 (円)	新聞購入費 (円)	視聴覚資料費 (円)
本館	7,823	68	13,570,141	1,533,357	494,756	309,177
中主分館	565	0	1,141,946	59,538	94,800	0
合計	8,388	68	14,712,087	1,592,895	589,556	309,177

\*滋賀県立図書館をはじめ県内公共図書館の蔵書も県立図書館HPを通じて検索可能。

県立図書館の協力車が毎週巡回し、相互貸借の資料を搬送。相互貸借:2,098冊借受、712冊貸出

### 3. 本館開館 20 周年記念事業

- ①講演会「島田潤一郎さんトークライブ」講師:夏葉社代表 12月3日 受講者 55人
- ②黒川琉伊『はじめてのびわこの魚』原画展&「るいくんのおさかな教室」(講演会)  
原画展 8月17日~30日(期間中の入館者 7,162人) 講演会 8月26日(参加者 28人)
- ③「図書館で調べものマスターをめざそう!」8月5日 2回開催 各回 6人参加
- ④「図書館を使ってみよう」ファミリーレストラン取材 取材記事を「広報やす」11月号とロビーで展示
- ⑤「としょかんで夜更かし」9月18日 入館者 360人
- ⑥「一箱古本市」10月22日 出店者 10組
- ⑦「雑誌付録プレゼント大抽選会」応募期間 11月1日~13日 応募数 2,151枚
- ⑧展示「図書館の本を見て作りました!」(サンプル展示・募集 10月1日~30日)  
作品展示 11月26日~12月11日 応募者数 18人

### 4. その他の集会行事、学校・園協力事業

- ①おはなし会(図書館内) 合計 62回 630人(定員制限して職員担当の会のみ実施)
- ②学校、園協力
  - ・調べ学習資料用意:50件 1,395冊
  - ・学校への出張個人貸出:4校(三上小、中主小、篠原小、中主中)延べ 27回 合計 3,653冊貸出
  - ・ブックトーク:6小学校へ出向 合計 92クラス 2,924人
  - ・小学校でのおはなし会 43回 11日 2,205人(職員、ボランティアで実施)
  - ・小学校・幼稚園等の図書館見学 1回 78人
  - ・幼稚園・保育園・子ども園等へ読み聞かせ用絵本セットを配本(14園+2施設 年6回) 5,760冊

### 5. 資料関連その他

- ・本の特設コーナー:合計 119件 「憲法を考える」「へんですてきな建物たち」「近江天保一揆」「平和ってなんですかー?」「OKINAWA~本土復帰 50年~」「夜更かし、楽し」「鉄道あれこれ ~ 鉄道開業 150周年」「夏葉社と島田潤一郎の本」「今年が『新しい戦前』とならないために考えておきたいいくつかのこと」「生誕 100年作家特集~池波正太郎・司馬遼太郎・遠藤周作」「面白い本は面白い」「わたしはわたし~ありのままに生きる~LGBTQ」ほか
- ・図書館だより、ブックリスト等の作成:一般向け(毎月)、児童向け(毎月)、児童向け特番(1回)、中高生向け(4回)、中高生向け特別号(3回)
- ・野洲市に関する新聞記事のデータベース(新聞名、日付、タイトルなど)を図書館HPで公開

### 6. 他機関等との連携

- ・ブックスタート事業 4か月児健診児対象 新型コロナウイルス感染症対策で健診会場に入れなかったため引換券を健診時に配布し、図書館内で実施。(292組、584冊配布)

### 7. 図書館協議会 (委員任期 令和3年5月1日~令和5年4月30日)

委員 10名 4回開催 第1回 7/1、第2回 9/16、第3回 12/16、第4回 3/4

### 8. その他

- ・「図書館の評価」令和元年度より実施開始 目標 13項目 図書館協議会による外部評価を実施
- ・図書館アンケート 令和4年 12/1~12/28 計 814件(用紙回答 696件、ネット回答 118件)
- ・施設貸出 利用回数 758回、8,162人、利用団体実数 98団体